

江を浜る舟人の唱を遥かに聞く歌一首

四一五〇番

あさどこ
朝床に 聞けば遥けし 射水川 朝漕ぎしつづ
うた ふなびと
唱ふ舟人

三日に、守大伴宿禰家持の館に宴する歌三首

四一五一番

けふ
今日のためと 思ひて標めし あしひきの 峰の
へ さくら
上の桜 かく咲きにけり

四一五二番

おくやま
奥山の 八つ峰の 椿 つばらかに 今日暮ら
とよ
さね ますらをの伴

四一五三番

からひと
漢人も 筏浮かべて 遊ぶといふ 今日そ我が
せこ はなかつら
背子 花縵せな